

環境コミュニケーション大賞及び環境コミュニケーションシンポジウムについて

1. 環境コミュニケーション大賞

(1) 概要

環境コミュニケーション大賞は、企業の自主的な環境アクションプランの作成・公表の取り組み（環境報告書、環境声明書、環境行動計画等）を促進することを目的として、平成9年度から毎年実施されており、今回で12回目になる。（12月初旬募集開始、表彰は2月下旬予定）

環境報告書部門・環境活動レポート部門・テレビ環境CM部門の3部門があり、優れた環境報告書等、環境に配慮した事業活動を表彰することにより、事業者等の環境情報の開示を促進するとともに、その質の向上を図ることを目指している。

(2) 主催者等

主催：環境省、(財)地球・人間環境フォーラム

後援：日本経済新聞社

協力：財団法人地球環境戦略研究機関 持続性センター

(3) 選考方法

学識経験者等からなる審査委員会において選考審査を実施。

審査委員長 山本良一氏（東京大学生産技術研究所教授）

(4) 平成19年度の概況

- ・応募数 410 点（環境報告書部門 317 点、環境活動レポート部門 60 点、テレビ環境 CM 部門 33 点）
- ・受賞企業

部門	大賞（環境大臣賞）	その他各賞
環境報告書部門	<u>環境報告大賞（1点）</u> ・松下電器産業(株) <u>持続可能性報告大賞（1点）</u> ・トヨタ自動車(株)	<u>環境報告優秀賞</u> ・シャープ(株)・(株)西友・ワタミ(株) ・積水化学工業(株)・大栄環境グループ ・(株)リコー ・(株)リコー福井事業所 <u>持続可能性報告優秀賞</u> ・伊藤忠商事(株)・(株)INAX ・大和ハウス工業(株) ・東京急行電鉄(株) ・凸版印刷(株) ・日産自動車(株) <u>優秀賞（環境配慮促進法特定事業者賞）</u> ・宇宙航空研究開発機構 ・島根大学 ・信州大学 ・千葉大学 ・東京大学 <u>奨励賞</u> ・シスメックス(株) ・大栄サービス(株)
環境活動レポート部門（エコアクション 21 実施企業対象）	<u>大賞（1点）</u> ・ワイルカンパニー(株)	<u>優秀賞</u> ・クリーンセンター花泉(有) ・(有)坂井商店 ・東京都立農芸高校 ・牧之原市役所 ・琉球大学
テレビ環境CM部門	<u>大賞（1点）</u> ・社団法人公共広告機構	<u>優秀賞</u> ・(株)ジャパンエナジー ・シャープ(株) ・積水ハウス(株) ・松下電器産業(株)

2. 環境コミュニケーションシンポジウムについて

(1) 概要

環境コミュニケーションについての国内外の動向や事業者における取組の意義・課題を紹介し、その質の向上と普及促進を図るため、企業関係者及び一般市民向けに、環境コミュニケーション大賞の表彰式と合わせて、講演会やシンポジウム等の普及啓発イベントを毎年開催している。

(2) 主催者

環境省、(財)地球・人間環境フォーラム、日本経済新聞社、サステナビリティ・コミュニケーション・ネットワーク

(3) 平成 19 年度の概況

「低炭素社会への変革～企業のサステナビリティの方向性を探る～」をテーマに、基調講演（早稲田大学大学院公共経営研究科 北川正恭教授）と有識者等 6 名によるパネルディスカッションを実施。